

令和7年度 第3回学校運営協議会〈記録〉

期日 令和8年2月25日(水)

時間 15:20~16:20

場所 中和小学校 校長室

〈本日の日程〉

- | | |
|------------------|-------------------|
| ○6年生を送る会 参観 | 13:00~14:50 (体育館) |
| ○学校からのお知らせ(保護者へ) | 14:55~15:10 |
| ○学校運営協議会 | 15:20~16:00 (校長室) |

〈学校運営協議会次第〉

出席者：中和小学校運営協議会委員 8名(地域より6名・学校より2名)

傍聴人：1名(旭市教育委員会生涯学習課指導員)

1 始めのことば(教頭)

2 会長挨拶(会長)

3 校長あいさつ(校長)

4 協議(議長：藤崎会長)

(1) 学校運営及び学校評価アンケートについて(校長)

・校長が、学校運営・学校評価について資料をもとに説明した。

〈質疑応答〉

○家庭での自主学習への取組について

* 自学は、時間だけでなく内容も大切である。きちんとやらせるには、家庭学習指導も必要になる。学校全体で家庭学習指導について、共通理解を図っているか。

学校より：4月に共通理解を図っているが、担任個々により指導方法の差はあるようだ。

* 子供は「自学をやっている」と言うが、親からみると「それほどやっていない」ととれるのだろう。

* 自学の内容は、人それぞれなのか。

学校より：それぞれである。中学校への接続を念頭に置き、自分で課題を見つけ、内容を考えて行えることを目指している。家庭学習強化週間では、よい自学の取

組を昇降口に掲示するなどして、自学のヒントを得られるようにしている。

*中和小検定は、どのように行っているか。

学校より：漢字と計算の既習事項について、年3回確認テストを行っている。

独自問題で行っているが、ドリル等の付属プリントを活用することでも同様の効果が期待できると感じる。次年度は通常のドリル学習の流れを活用していきたい。

○スマホやタブレットの使用について

*環境は整っているのに、読書も家庭学習も評価は低い。タブレットやスマホの影響が大きいのではないか。所有率の調査は行っているか。所有率がわかっていると、アプローチ方法を考えていくことができるのではないか。

*親もスマホ等を長時間使用していることが多いのではないか。親の姿を見て子供もまねをして、それでよいと思ってしまう面もあるのだろう。難しい時代だと感じる。

*今の時代、「スマホを持たせない」ということは無理だろう。持つ際のルール作りをする必要があるのではないか。今の子供たちは、デジタル機器を上手に活用することもできる。情報リテラシーについての指導をしていくことが大切と感じる。

*子供たちと話し合い、各家庭で「どれくらいの時間で終わりにする」といったルールを決めていく必要があるだろう。

学校より：これまで、所有率について詳細な調査は実施していない。まず、視聴時間や所有率を調査したい。あわせて、家族内のルール作りや情報リテラシーを学ぶ機会について検討していきたい。

(2) 地域学校協働活動および閉校準備委員会の報告（教頭）

- ・教頭が、令和7年度の地域学校協働活動と閉校記念事業準備委員会の経過について資料をもとに報告した。

(3) その他

〈意見交流〉

宮崎委員：子供たちが良く育っていて、送る会の発表も気持ちがこもっていた。

これらは、評価の数値で表せない部分であり、よく育ててもらっていると思う。あと一年、そして新しい学校でも続いていくようであってほしい。

菅谷（光）委員：学校評価はどの数値も高く、だいぶできていると思うので、このまま続けて欲しい。

菅谷（圭）委員：各評価項目について、どれもよくできている。これからも続けていつて欲しい。

石田委員：今の中和小に通わせていればよかっただろうと思う。その半面、朝の登校する姿を見ていると、もうちょっと締まらないかと思う。

玉井委員：6年生を送る会を参観して、小学校の先生はすごいと思った。6年生担任は自らが特技を披露していた。アットホームな学級経営が背景にあり、日頃、良く子供たちと接しているのだろうと感じた。

藤崎委員：6年生を送る会は、どの学年発表も心温まるもので、6年生にとって一生忘れられない記憶になると思う。

5 連絡

(1) 次年度の委員の推薦について（教頭）

- ・教頭が、次年度の学校運営協議会委員の推薦について、資料をもとに説明と依頼をした。

6 終わりのことば（教頭）